

AIDS UPDATE

No.3 1998.9.21

広島大学医学部附属病院
エイズ医療対策室

内線2941 (輸血部副部長室)

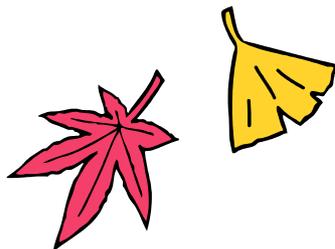
Internet: www.aids-chushi.or.jp

広島県エイズ看護婦(士)研修会

広島県看護協会から研修会の案内を頂きました。看護職以外の参加も歓迎しています。講師の馬場 萌さんはハワイでエイズのボランティア活動を続けられており、本院の看護婦がエイズ研修を受けたとき、現地でお世話頂きました。石原美和さんは、国立国際医療センターのエイズ治療研究開発センターで、コーディネーターのお仕事をされておられます。

HIV/AIDS看護研究会総会 および研究発表会

HIV/AIDS看護研究会(JANAC)は数年来、熱心にHIV感染者の看護研究をしている民間団体です。今回、関西地区での集会を持ちます。他の病院の看護職の方の取り組みがよくわかると思います。個人参加ですが、いかがですか？



中四国エイズセンター

Q & A これだけは知っておきたい HIV感染症と福祉制度の実際

中四国エイズセンターのホームページ(www.aids-chushi.or.jp)から得た文書です。1998年4月から、HIV感染症は「(ヒト免疫不全ウイルスによる)免疫機能障害」として身体障害認定が受けられるようになりました。人工透析の腎不全や小腸機能障害などと同じ扱いです。本院で診断書を書くことができる指定医は高田 昇医師です。患者さんはどのような社会福祉制度が利用できるのか、医療者は知り患者さんに伝えられなければなりません。



< ご意見募集 >

今回の「AIDS UPDATE」は看護と福祉の記事でした。今後も不定期に発行します。ご意見やご希望がありましたら輸血部までお寄せ下さい。

[TAKATA, OE]